

学校概要

創立 18 周年	学校長 宇都宮 桂	副校長 佐々木 茂	学期 2 学期制	児童・生徒数 647 人
学級数 一般級: 19 個別支援級: 2		主な関係校: 東山田中学校、山田小学校、北山田小学校		

学校教育目標

一人ひとりが かがやく 東山田小
 ○学び続ける子ども…学習の基礎・基本を着実に習得し、積極的・発展的に学び続ける子どもを育てます。(知)
 ○自分を創る子ども…生命を大切に、社会の一員としての姿勢や資質を身に付け、社会のために行動する子どもを育てます。(体・公)
 ○共に生きる子ども…思いやりをもち、様々な人とのコミュニケーションを通して、社会の視野を広げる子どもを育てます。(徳・開)

学校の特徴

□港北ニュータウンとして造成された土地につくられた比較的新しい学校である。古くからの地域もあり、寺や神社、里山も見られる。また、多くの公園、商店街や町工場地域もあり、生活科や総合的な学習など、学習の材がたいへん豊富な環境にある。
 □学校に協力的な保護者が多く、PTA活動では、ベルマーク回収・資源回収、広報誌などでは、市や県からも表彰されている。
 □教職員は、協働して授業づくりや児童指導を行っていく姿勢があり、チームとしてまとまっている。
 ■この5年間で児童数が300人近く減少している。学校経営組織改革や学校教育活動の見直しが必要である。

学校経営中期取組目標

○家庭や地域と連携しながら、子どもが自信をもって活動している活気あふれる学校をつくります。
 ・基礎学力の定着と学力向上や課題解決学習に向けて、チーム力で授業改善と指導力の向上に努めます。
 ・子どもの自己肯定感を高めるために、一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。
 ・健康な体づくりや体力向上をめざして、運動や食教育を計画的に実践していきます。
 ・中学校、幼稚園、保育園、異学年との交流を積極的に行い、豊かな心の育成と滑らかな接続に努めます。

小中一貫教育の取組

東山田中学校 ブロック : 東山田中学校、東山田小学校、山田小学校、北山田小学校

9年間で育てる子ども像	◎高め 認め合い つながる 自分を高め、互いを認め合い、人につながる児童・生徒を育みます。
自校の具体的取組	・児童生徒交流日、部活動体験活動等、児童生徒の交流活動を促進し、心の成長や社会性の育成を進めます。 ・重点研の生活科・総合的な学習の時間を通して、地域や学校支援地域本部、中学校等と繋がり、まちの一員として自信をもって自分づくりを進めます。 ・四部会(授業研究、特別活動、生活指導、健康安全)+人権教育、教科会といった組織活動を充実させ、9年間のカリキュラム理解、継続した指導形態・方法等の充実等、組織で小中一貫教育を推進します。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	・基礎・基本の学力を定着させ、思考力・判断力・表現力の育成をめざし、学びを身に付けて社会に生かそうとする子どもを育みます。	①GDに示した育てたい子ども像を目指して授業のUD化、モジュールタイムの有効活用、教科分担当の一部取組等、授業づくりの工夫改善を進める。②重点研の生活科・総合的な学習の時間で、主体的・対話的で深い学びを通して生きて働く知識を含む資質・能力を育成する。③だれもが安心して授業に参加できるように全職員で共通した指導の充実に取り組む。
豊かな心	・自分を大切に、しなやかに生き、相手の立場や気持ちを思いやり、共に生きる子どもを育みます。	①異学年交流、幼・保・中・地域の方との交流など、人とのかかわりを重視し心の成長を促し、自己肯定感・自己有用感の育成を図る。②あいさつは「心と心をつなぐバトン」として学校、家庭、地域に広げ、人と豊かに関わる子を育成をする。③道徳の授業、人権週間での中学校との連携などを通して、心の教育を推進する。
健やかな体	・自らの健康や体力に関心をもち、継続して心と体の健康を保持増進し、体力向上に取り組める子どもを育みます。	①児童の運動・給食・保健委員会が「全校元気会議」を開き、学校全体で健康の保持増進について実践する。②家庭と連携協力し「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち・運動」の習慣を推進する。③養護教諭・栄養職員が担任と連携し、食育や保健学習でより専門的な指導を行う。④体育授業や体力向上一校一実践等を通して、全校で体力づくりに取り組む。
児童生徒指導	・学校全体で児童理解を共有し、学校のきまりに基づいた指導で、基本的な生活習慣を身に付け、集団の中で自分のよさを発揮できる子どもを育みます。	①専任や児童指導・特別支援教育委員会を中心に情報共有、指導内容・方法等の確認をし、全職員で児童理解を深め、組織的に指導に当たれるようにする。②学校のきまり・東山田小スタンダードの定着や修正を図り、だれもが安心して豊かに過ごせる学校・学級づくりを進める。
安全管理	・様々な危険や危機を想定した学習や訓練を行い、自助力を高めるとともに、危険を予測し、回避できる子どもを育みます。	①大規模地震発生を想定した東山田中学校ブロックでの引き渡し訓練、火災、不審者等、児童の落ち着いた行動(自助力)、教職員の迅速な対応のスキルアップ等を図るため、実践的な避難訓練を毎月実施する。②登校班会議や交通安全指導を行い、登下校の安全・安心に努める。③チェックリストに基づいて、学校内の安全点検を教職員が分担して毎月一回行う。
地域連携	・中学校ブロック学校運営協議会、学校づくり懇話会、地域等と連携を図り、地域とともにある学校づくりに努め、地域で学び、地域に誇りをもてる子どもを育みます。	①生活科・総合的な学習に時間等を中心に、保護者や地域協力者と連携を図った教育活動を継続していく。②地域学校協働本部・地域コーディネーターと連携して、児童の学習支援ボランティアの協働して学習指導を行っていく。③東山田準工業地帯等、地域理解研修の実施、地域防災訓練、地域行事への職員の参加等を通して地域理解を深める。
特別支援教育	・児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を学校全体で行います。	①支援に必要な児童に合理的配慮を行いながら、確実に必要な支援ができるように指導体制を整える。②配慮を要する児童の対応について、全教職員で共通理解を図り、チームで迅速に対応すると共に、必要に応じて関連機関と連携協力をとり支援・指導につなげていく。③特別支援教育について教職員の指導力の向上を図るための研修を年2回行う。
人材育成・組織運営	・コンプライアンスを遵守し、職務の遂行に努めるとともに、自己のキャリアステージに応じた目標設定をし、学び続ける教職員組織を推進します。	組織を生かした人材育成を図る。①学年研等で、経験の少ない教員へ日常化から指導を進める。②メンターチームが自ら研修を行い、資質や授業力向上等に努める。③管理運営委員会では、学年等の課題を共有し、効率的な学年運営等を推進できるミドルリーダーの育成を推進する。④教務会では、全体を見通して学校運営を進められるリーダーの育成を推進する。
いじめに関する項目	いじめのない学校づくりをめざし、自他のよさを認め合い、支え合う豊かな人間関係づくりを構築し、学校全体で組織的、継続的に心の教育に努めます。	①「東山田小いじめ防止基本方針」に基づき、全職員で情報共有を図り、いじめの防止、早期発見、迅速な指導を図る。②一人ひとりが大切にされる学級づくりのために、定期的にアンケートやYPアセスメントを実施し、児童や学級の状態を丁寧に把握し、指導に活かしていく。また、各学級の課題に応じた社会的スキル横浜プログラムを実施する。